

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

富山県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	透I未訓 方	救 臨 が 感 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
1,074,705	66,174	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

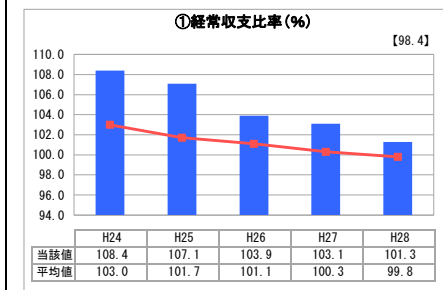
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
665	-	16
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	2	733
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
665	-	665

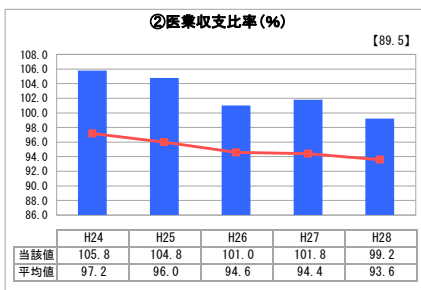
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

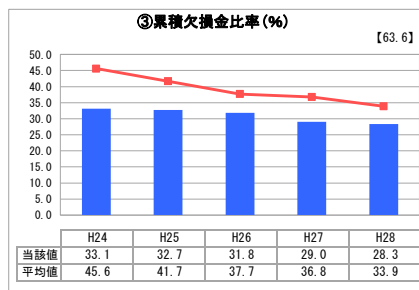
## 1. 経営の健全性・効率性



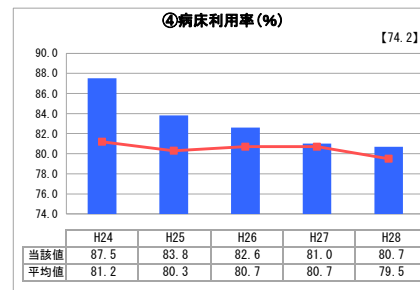
「経常損益」



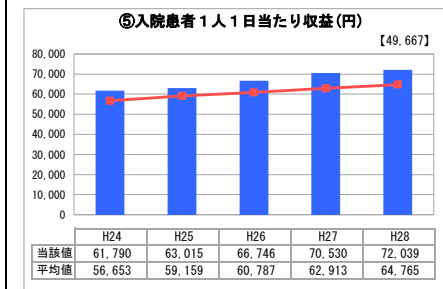
「医業損益」



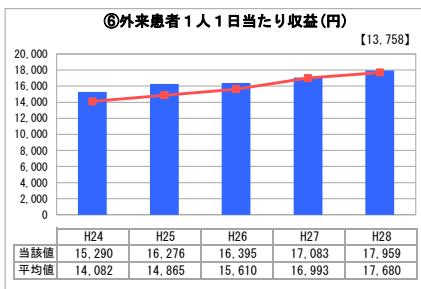
「累積欠損」



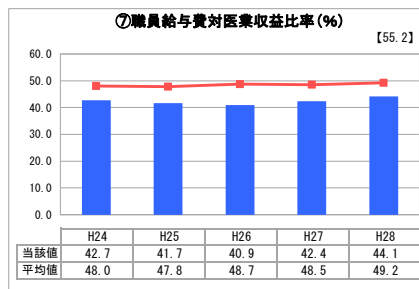
「施設の効率性」



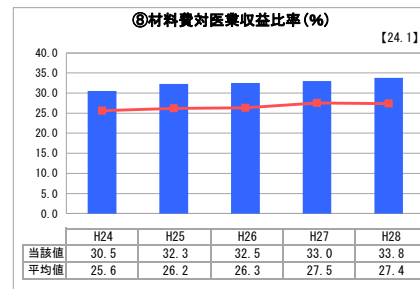
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

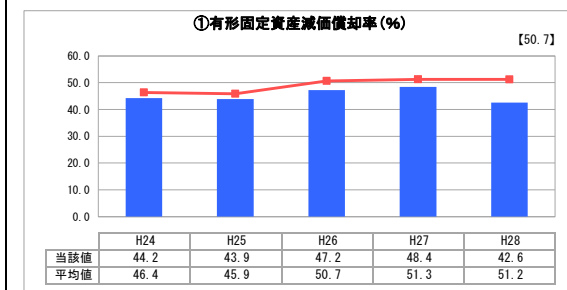


「費用の効率性①」

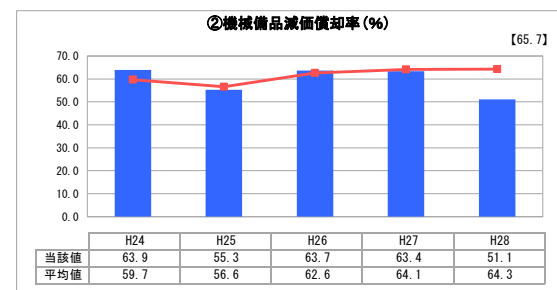


「費用の効率性②」

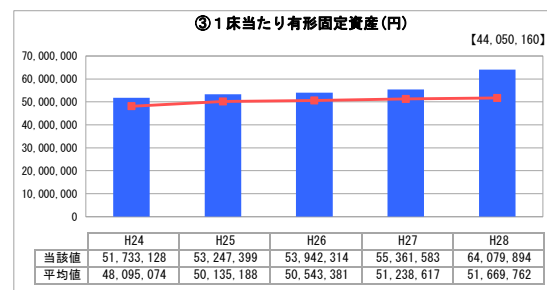
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

- ②救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
- ③県立がんセンター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
- ④研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率、医業収支比率  
28年度においては、がん等の高度専門医療及び緊急時医療の充実強化を図るため先端医療棟を整備したことにより、職員の増員による給与費の増加に加えて、高額医療機器のリース料の増加等により医業費用が増えたことから医業収支比率が100%を下回ったが、政策医療に係る一般会計からの繰入金を加えた経常収支比率では100%を上回っている。
  - ・職員給与対医業収益比率  
先端医療棟の整備に伴い職員を増員したことから上昇しているものの、類似病院平均値よりは低い水準にある。
  - ・材料費対医業収益比率  
抗がん剤を始めとする高額薬品・高額材料の使用増に伴い、上昇傾向にある。
- ### 2. 老朽化の状況について
- ・有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率  
28年度においては、先端医療棟が完成し、多数の医療器械を導入したことにより減少した。
  - ・1床当たり有形固定資産  
28年度においては、先端医療棟が完成し、多数の医療器械を導入したことにより増加した。

### 全体総括

経営の状況はおおむね良好である。今後、新たに整備した先端医療棟の建物や医療機器の減価償却費の増高等により医業費用が増えることから、先端医療棟をはじめとする施設を有効活用し、高度・専門的な医療を推進していくとともに、さらなる経営の健全化に努めていく必要がある。このような状況を踏まえて、H28年度に策定した新公立病院改革プラン（第4次中期経営計画）に基づき、経営基盤強化と財務マネジメントの向上を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。